

# 平成16年 3月期 決算説明会

平成16年5月20日



株式会社 D T S

<http://www.dts.co.jp/>

# 平成16年3月期の業績概況

## 本資料についてのご注意

本資料に記載した次期の売上高、利益の予想数値は、業界の動向を含む経済状況、お客様の動向等、現時点で入手可能な情報をもとにした見通しを前提としており、種々の不確実な要因の影響を受けます。実際の売上高および利益は、本資料に記載されている予想数値とは異なる場合があります。

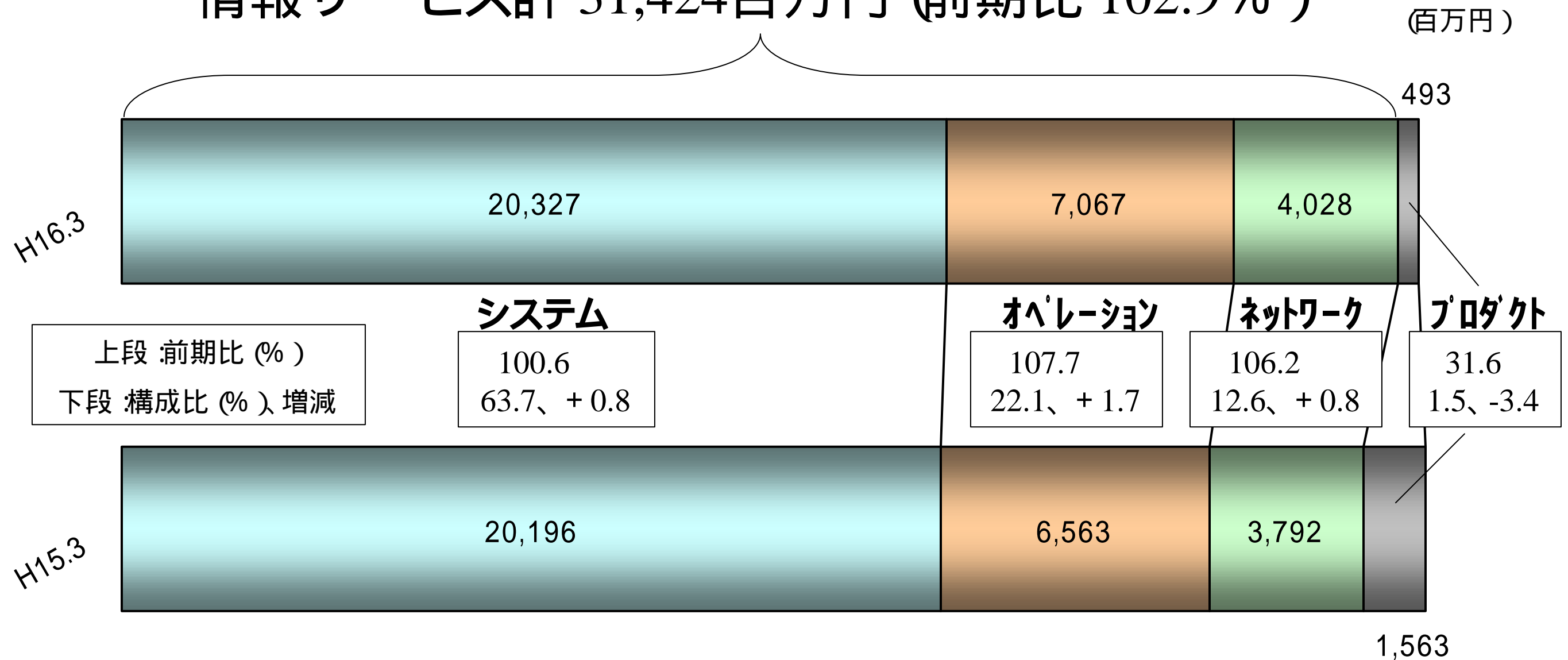
# H16年3月期 業績状況 (単独)

	金額 (百万円)	売上比率 (%)	前期比 (%)
売上高	31,917		99.4
営業利益	3,356	10.5	96.8
経常利益	3,450	10.8	98.4
当期純利益	1,809	5.7	93.9

中間配当金 (円)	期末配当金 (円)	年間配当金 (円)
15	25	40

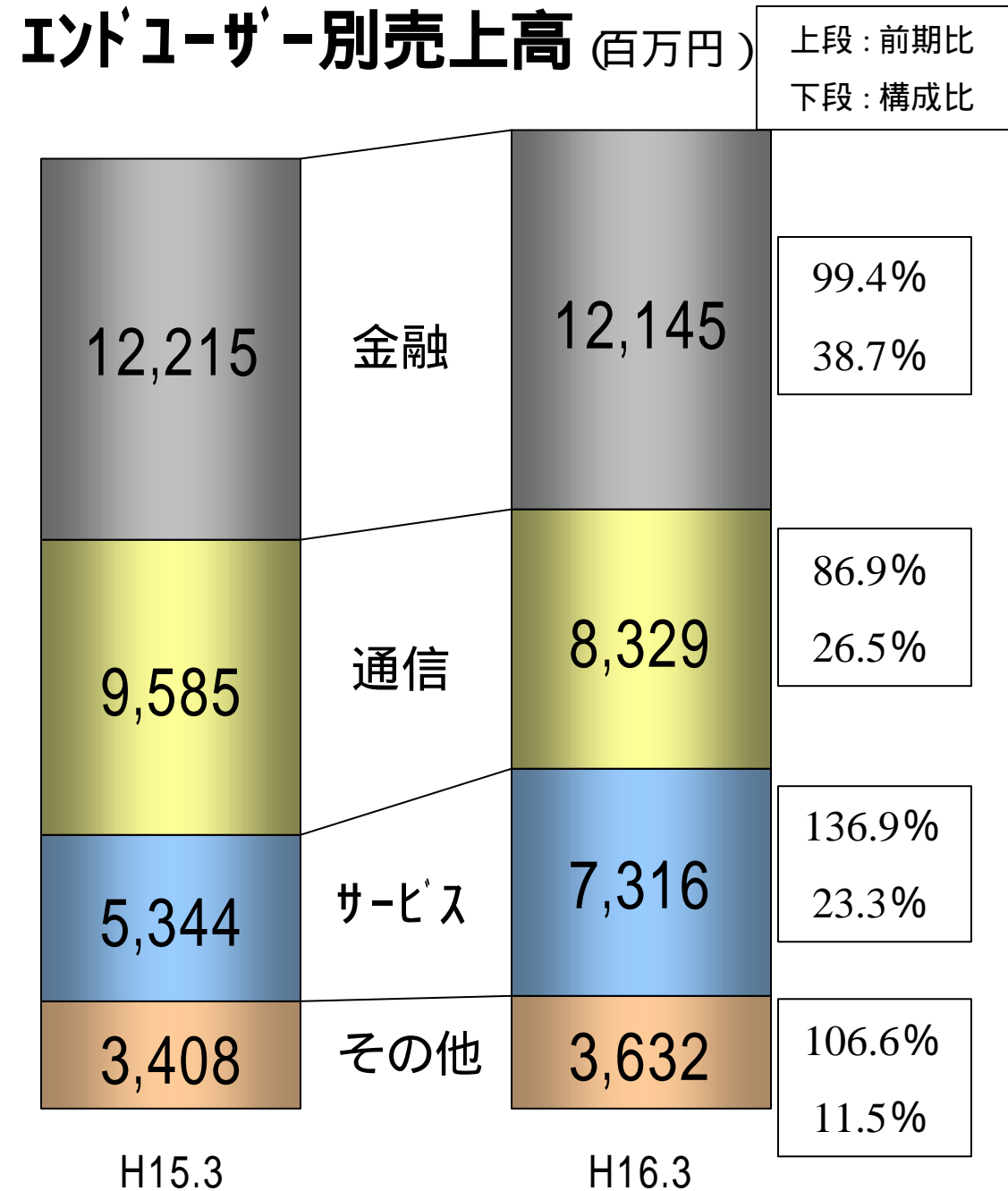
# サービス別売上高の状況 (単独)

情報サービス計 31,424百万円 (前期比 102.9%)



**情報サービスの増加 (+ 2.9%) とプロダクトの大幅減 (- 68.4%)**

# 情報サービス売上高の増加



## 増減のポイント

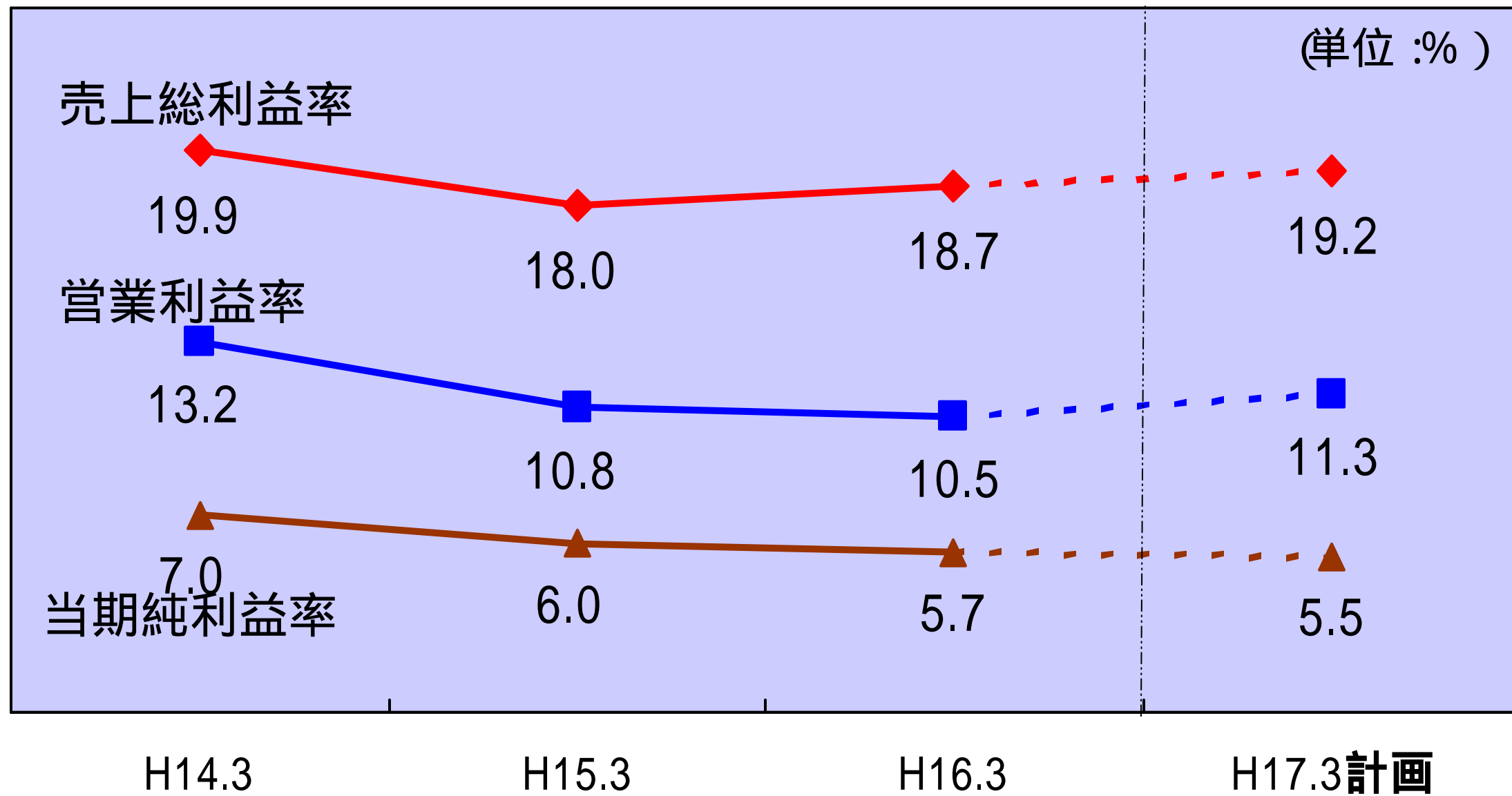
- 金融 (前期比 99.4%、構成比 - 1.3%)  
厳しい中でも堅調に推移  
一部の金融機関向け減少が響く(4Qが減)
- 通信 (前期比 86.9%、構成比 - 4.9%)  
下期から回復基調 下げ止まり
- サービス (前期比 136.9%、構成比 + 5.8%)  
開発・運用ともに好調、新規獲得拡大
- その他 (前期比 106.6%、構成比 + 0.4%)  
製造、電力が増加、公共は減少  
(公共を除くと前期比124%)

## 新規売上高

- 新規顧客 2,045百万円 (前期 397百万円)
- 既存顧客新規部門 2,736百万円 (前期 1,562百万円)

営業体制強化による新規獲得と既存顧客との取引拡大

# 利益率の推移 (単独)



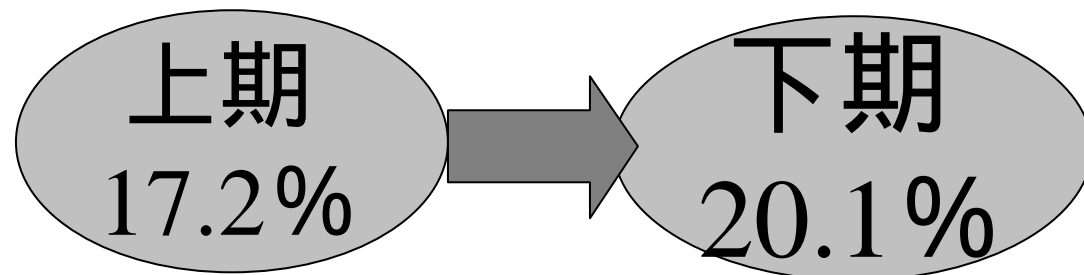
売上総利益率改善

# 売上総利益 (単独)

	金額 (百万円)	前期比 (%)	売上比率 (%)
H16.3期	5,965	103.5	18.7
H15.3期	5,765	-	18.0

## ● 売上総利益率

下期に総利益率が上昇



通期 : 18.7%

前期比 +0.7%

生産性向上 +1.3%

売上単価引下げ -0.6%

赤字案件の金額増加 -0.3%

プロダクト売上構成比減少 +0.3%

プロジェクト管理の強化と労務費・外注費の圧縮

# 営業利益・経常利益 (単独)

- 営業利益 3,356百万円 (前期比 96.8%、売上比率 10.5%)  
**販管費増 (前期比 +13.5%、販管費率 8.2%) の要因**
  - 営業体制強化 営業要員増強
  - プロジェクト支援体制強化 技術部増強、運用企画部新設
  - 経営基盤強化 コーポレートスタッフ本部増強
- 経常利益 3,450百万円 (前期比 98.4%、売上比率 10.8%)
  - 営業外収益の増加 受取配当金の増加と保険解約益の発生
  - 営業外損失の減少 社債完済による社債利息の減少

飛躍に向けた3ヵ年計画

『DTS WINNING PLAN '05』に基づく土台作り



# 当期純利益 (単独)

- 特別利益

適格退職年金終了益 179百万円

税制適格退職年金制度から確定拠出型年金制度へ移行

- 特別損失

固定資産売却損 463百万円

独身寮売却 (当初計画よりも損失額減少)



1,809百万円 (前期比 93.9%、売上比率 5.7%)

当期純利益は計画比 104.3%

# 財務状況 (単独)

(単位 :百万円)

	H1 6.3	H15.3	増減	主な増減要因
流動資産	14,573	14,760	186	(流動資産) 売掛金 - 745、仕掛品 - 247、現預金 + 647
固定資産	13,053	13,813	759	(固定資産) 土地・建物 - 789 (独身寮売却等) 建設仮勘定 + 445 (新ビル建設)
資産合計	27,627	28,573	946	関係会社株式 - 136、保険積立金 - 236
流動負債	5,093	6,495	1,402	(流動負債) 期限前償還社債 - 700、 買掛金 - 274、未払法人税等 - 485
固定負債	175	756	581	(固定負債) 退職給付引当金 - 506 (適年から401kへ移行)
負債合計	5,286	7,252	1,983	
資本	22,358	21,321	1,037	利益剰余金 + 1,129、 その他有価証券評価差額金 + 270、 自己株式 - 362
資本・負債合計	27,627	28,573	946	

有利子負債無し、株主資本比率74.6%から80.9%に上昇

詳細は『決算短信』P25 - 26を参照

# H16年3月期のハイライト

- **売上高**  
情報サービスは前期比増であったものの  
プロダクトの大幅減が影響
- **売上総利益**  
赤字案件の影響を受けるが、下期の利益率改善により、  
金額、利益率とも前期を上回る
- **営業利益**  
営業体制、教育研修および技術支援強化で販管費増
- **経常利益**  
受取配当金、保険解約益による営業外収益増加と  
社債償還による営業外費用減少
- **当期純利益**  
年金制度の移行 (適年 401k)に伴う特別利益と  
独身寮売却に伴う特別損失
- **財務状況**  
独身寮売却、社債の完済等による総資産圧縮 財務体質強化  
自己資本比率向上、1株当たり株主資本111.82円増加 (1,823.30円)

# 子会社の業績状況

	データリンクス			九州DTS		
	金額 (百万円)	売上比 (%)	前期比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	前期比 (%)
<b>売上高</b>	5,351	-	116.3	833	-	121.8
<b>営業利益</b>	213	4.0	203.8	66	8.0	223.1
<b>経常利益</b>	214	4.0	200.8	69	8.4	193.7
<b>当期純利益</b>	6	0.1	11.9	41	5.0	197.6

## <データリンクス>

プロダクトの大型受注、新賃金体系の導入・事務所統合効果等により 増収増益（経常利益ベース）。  
売上債権の回収不能見込額（193百万円）の計上により 当期純利益は大幅減。

## <九州DTS>

地銀案件の拡大に加え官庁システムの受注、徹底したプロジェクト管理効果等により 過去最高の収益を達成

# 連結の業績状況

	金額 (百万円)	売上比率 (%)	前期比 (%)
売上高	37,094	-	100.5
営業利益	3,609	9.7	101.3
経常利益	3,693	10.0	102.9
当期純利益	1,805	4.9	93.9

プロダクトサービス・人材派遣の減少を、主力事業である情報サービスの増加がカバーし増収  
 大型特需等による子会社の増収増益により増益（経常利益ベース）  
 独身寮売却損、売上債権の回収不能見込み額の特別損失計上等により  
 当期純利益は減益

# 平成17年3月期の計画

# DTS WINNING PLAN '05

## 2年目を迎えて

高付加価値企業へ

### 総合力を発揮し全面展開

業界のリーディングカンパニーを目指す

3年目 (平成18年3月期)

多様化ニーズへの対応

### 提案型ビジネスの積極展開

コンサル・ソリューション展開  
戦略的提携、事業地域の拡大

2年目 (平成17年3月期)

市場激変への対応

### 飛躍に向けた体制構築

営業体制の強化、教育研修の充実  
プロジェクト管理の強化  
プロジェクト支援体制の強化

1年目 (平成16年3月期)

# 営業体制

- アカウントマネージャー制を導入  
主要顧客20社を対象  
既存顧客との更なる取引拡大
- ソリューション推進部の新設  
Sおよび一括案件の受注拡大
- 積極的な新規案件受注活動  
サービス業・その他業種の受注拡大



# 飛躍への成長戦略

## ➤ 事業分野の拡大

- ・先端技術を活用したソリューション展開

ECカード、ECタグ、携帯端末 —— 戦略的提携

- ・本格的なアウトソーシングの展開

システムの共同利用、BPO

## ➤ コアビジネスの強化

- ・開発フレームワークの活用
- ・パッケージ、オープンソースの活用
- ・プロジェクト管理の徹底
- ・オフショア活用



質・量の両面から攻めのビジネスを展開

# 教育研修体制

- 社員のスキル転換促進
- キャリアパスに基づく研修プログラム
- 前期なみの研修費用（H16.3期 約9億円）

## ポイント

- コンサル、PM、モデラーの育成
  - 基盤系技術者の育成
  - OO型開発技術者の育成
- に注力

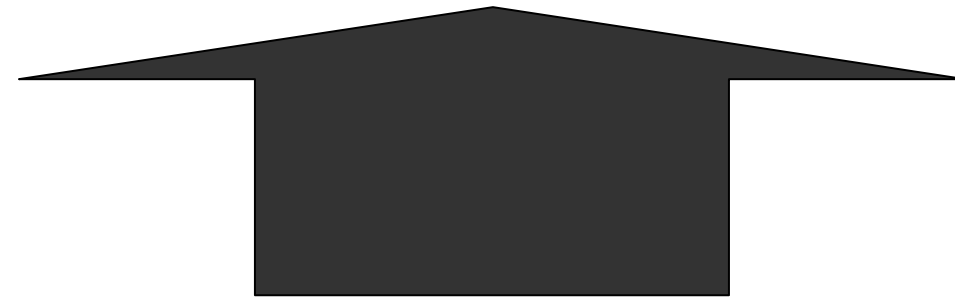
# H17年3月期の計画 (単独)

	金額 (百万円)	売上比率 (%)	前期比 (%)
売上高	33,200		104.0
営業利益	3,752	11.3	111.8
経常利益	3,792	11.4	109.9
当期純利益	1,820	5.5	100.6

中間配当金 (円)	期末配当金 (円)	年間配当金 (円)
15	25	40

# 配当の基本方針

安定・継続的な配当額を維持



✓中長期的な視点からの利益還元を重視

# 子会社の計画

	データリンクス			九州DTS		
	金額 (百万円)	売上比 (%)	前期比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	前期比 (%)
<b>売上高</b>	5,218	-	97.5	740	-	88.8
<b>営業利益</b>	180	3.5	84.5	41	5.6	62.4
<b>経常利益</b>	180	3.5	84.4	41	5.6	59.7
<b>当期純利益</b>	102	2.0	15倍	23	3.2	57.1

## <データリンクス>

人材派遣事業、ネットワーク保守案件の拡大を見込むが、前期のプロダクト大型特需の減少、データエントリー業務の縮小により減収減益を計画。当期純利益は大きく改善

## <九州DTS>

前期の官庁システム大型特需が減少し、Web技術者育成強化の投資費用、退職給付費用の計上もあり、減収減益を計画

# 連結計画

	金額 (百万円)	売上比率 (%)	前期比 (%)
<b>売上高</b>	38,531	-	103.9
<b>営業利益</b>	3,942	10.2	109.2
<b>経常利益</b>	3,980	10.3	107.8
<b>当期純利益</b>	1,869	4.9	103.5

プロジェクト管理の一層の徹底、さらなるコスト削減等により、子会社の減収減益計画をカバーし、連結ベースでは増収増益を計画

引き続き独身寮の売却を実施予定(売却損6億円)だが、当期純利益でも増益を計画